

子どもとかかわり、子どもを知る ～学習支援ボランティア～

茨戸川

発行
石狩翔陽高校
新聞局
2025年10月30日
第7号

「学習支援ボランティア」は、石狩ふれあいの杜児童館にて、本校生徒が週2回ほど、児童館を利用する小学生の学習をサポートする活動である。活動時間は1日1時間ほどで、前半30分は小学生の宿題や、児童館から出される点つなぎなどの課題のサポートをする。後半30分は小学生と遊ぶことが多いそうだ。今回はそんな学習支援ボランティアに参加している生徒の中から3人に話を聞いた。



丁寧に教える森田さん

今回、インタビューに応じてくれたのは、2年2組の矢野いちかさん（活動歴…2年）、2年8組森田颯太さん（活動歴…5か月）、3年6組小松楓さん（活動歴…2年）の3人だ。

①ボランティアを始めたきっかけは？

矢野…小さい子とかかわるのが好きで、将来保育士になりたいという目標があるので今のうちから子どもとかかわりたいと思い参加しました。

森田…もともと子どもが好きで、子どもと触れ合えるというのを聞いて参加しました。

小松…進路関係で焦っていたときに、学習支援ボランティアの存在を知って参加してみたいと思いました。

②ボランティアを始めてから自

分自身に変化はありますか？

矢野…伝えるのが苦手だったので、どう伝えたらわかりやすいかや、子どもに怒らなきやいけない時の考え方が少し変わりました。

森田…子どもって凄く素直で純粋なんだと思ったし、自分自身の性格も子ども好きなんだと思いました。

小松…始める前より、子どもに優しくできるようになった気がします。

③学習支援ボランティアをしていて一番印象に残っている子どもとのやり取りは？

矢野…名れがかわいいねなど、身の周りのことをほめてくれたり、学校のことを話してくれたたりしたことです。

森田…自分のことを一生懸命説明してくれる子がいて、一番印象に残っています。

小松…真隣で歌を歌われた事です。注意すべきなのか、どうしたらいいかわからず、先生にその子が注意されるまで呆然としていました。



勉強を見つめる矢野さん

お問い合わせフォーム開設

この度、新聞局では読者の皆様からの感想や、この記事を書いてほしい、取材してほしいなどのご要望にお応えしようと思います！

どんな些細なことでも構いません！QRコードよりお待ちしています。



楽しく教える小松さん

④これから参加しようと思っっている後輩にアドバイス

矢野…最初はとても緊張しますが、小学生が好きにな方には自分の学びにもつながるのでおすすめです。

森田…子どもとまず楽しむ事を第一にして活動すると、モチベーションがずっと続きます。

小松…ボランティアを通して後輩の人とも仲良くなることができて、新しい友達ができたりしました。

編集後記

本号より編集後記を始めることになりました。

学習支援ボランティア。私自身気になってはいたのですが、今回詳しく聞けて、来年度はやってみようかなと思いました。ぜひ、皆さんもやってみませんか。

（桜井）

取材をする前は学習支援ボランティアについてほとんど知らなかったのですが、話を聞いて人に勉強を教える力がつきそうだと思い、興味を持ちました。積極的になってみたいと思います。

（希叶）

知り合いに学習ボランティアをやっている人がいて、どんなことをやるのか気になっていました。今回取材をしてみてもやる内容、やりがいなどたくさんのがわかって自分もしてみたいなとおもいました。

（關）

今後の新聞では、新聞局の活動紹介などもしていこうと思います。また、「キジを追う」で使用する「キジ」の写真も募集していますので、上のフォームより情報を待っています。